

克己心

～自分に負けない心～

夢を語り、夢を追う生徒
笑顔 続ける 支え合う

【学校だより】
平戸市立平戸中学校
令和8年10月1日
文責 原田 誠 第17号

各種表彰 おめでとうございます



「文化の秋」「スポーツの秋」、それぞれの分野でのさらなる活躍を楽しみにしています！
(敬称略)

氏名	大会名等	結果
平松 朋樺	赤い羽根共同募金 PR デザイン	優秀賞
俵屋 瑛守	九州 U13 トレセン	九州選抜選手

いいところみつけ 気づいた人が、動く

体育大会練習中の、ある一場面です。
全体練習を終え、職員玄関や生徒玄関には、練習で運ばれてきた大量の砂が落ちていました。いつも以上に砂が多く、誰かが掃除をしなければ、しばらくそのままになってしまいそうな状況でした。そんな中、西亮翔さん、吉本吏玖さん、田口颯龍さんの3人が、その様子に気づき、黙々と掃除をしてくれていました。誰かに頼まれたわけでもありません。ただ、「汚れているからきれいにしよう」と、自分からほうきを手に取り、掃除をしていました。その姿を見て、とても嬉しい気持ちになりました。
これまでの学校だよりでも、掃除に一生懸命取り組んでいる生徒を紹介してきました。掃除というのは、みんなが気持ちよく学校生活を送るためには、なくてはならない大切な活動です。「汚れていることに気づく。」「誰かが困っていることに気づく。」そして、「気づいたことをそのままにせず、自分から動く。」そうした力は、これから社会の中で生きていく上でも、とても大切な力です。
平戸中学校には、掃除に一生懸命取り組むことのできる生徒がたくさんいます。自分の担当場所をきれいにするだけでなく、時間いっぱい掃除をしたり、友達と協力したり、誰も見ていないところでも黙々と取り組んだりする姿があります。今回の3人の姿も、そんな「平中生のよさ」の一つだと思います。
一方で、残念ながら、掃除の時間に掃除をせず、遊んでしまっている人がいることも事実です。「誰かがやってくれるからいい」「自分一人くらいなら」と考えてしまえば、きれいな学校をつくることはできません。だからこそ、「気づいた人が動く」という姿を、少しずつ広げていきたいと思います。
一人の行動が、また誰かの行動につながり、やがて学級全体、学校全体の雰囲気になっていく。そんなよい輪が、平戸中学校にもっともっと広がってほしいと願っています。



お願い

以前よりお願いしており、昨日も「学びポケット」「安心メール」にてお願いしましたが、今後も行事が続きますので、改めてのお願いとなります。「学校行事や部活動等で写真や動画を撮影されたいと思います。その写真や動画をSNSにアップすると他人が写って、肖像権等の侵害、トラブルの原因になりますので、おやめください。また、お子様にもご指導をお願いいたします。トラブル等には学校は一切の責任を負いかねます。あらかじめ、ご了承いただきますようお願いいたします。」